

研究発表 2) Darllen Papur (2)

カムライグ語の地名・人名のカタカナ表記

—音声学的考察— 水谷 宏

Cyfieithiad Ffonolegol o Enwau Priod Cymraeg i'r Iaith Japaneg  
—Trawslythreniad yn 'Katakana', y Sillwyddor Japaneg— Hiroshi Mizutani

要旨 Crynodeb

日本カムライグ学会のプロジェクトの一つ、「カムリの地名・人名・作品名・登場人物名のかな表記の統一」と関連し、その手始めの作業として、カムライグ語と日本語の音韻体系を比較して、調音音声学に準拠した音韻翻訳の方法を示すことで妥当性の高い表記を提唱する。

Dynodir enwau priod Cymraeg gan lythyrennau a elwir 'Katakana', y sillwyddor Japaneg, yn disgrifio materion Cymreig, sef, mewn cyfieithiad o weithiau llenyddol, etc., e.e. 「バンゴール」 'Bangor'. Rhaid defnyddio'r dull o'r cyfieithiad ffonolegol seiliedig ar seineg ynganiadol.

I 背景事情 Sefyllfa Gefndir

カムライグ語で書かれた文学作品や論文等の著作を日本語に翻訳する場合や、英

語で書かれた著作の邦訳でも、カムリに関する情報が提供されている場合、カムライグ語の固有名詞は「カタカナ表記」される必要がある。現状では、いろいろな努力の跡が見られるものの、英語名からのものや、カムライグ語名であっても英語式の発音によるものなどの不統一が指摘されている。そのため、日本カムライグ学会としての何らかの統一が要望され、去る7月30日の第2回役員会でプロジェクトの一つとして、「カムリの地名・人名・作品名・登場人物名のかな表記の統一」が推進されることになった。今回の発表は、その手始めの作業として、いわば「原案」となる原則のみを示し、カムライグ語と日本語の音韻体系を比較するとともに、調音音声学に準拠した音韻翻訳の方法を示すことで妥当性の高い表記を提唱する。

## II 音韻体系の比較

ある言語の発音を、別の言語の伝統的な表記法に置き換える作業のことを、「音訳、字訳」**Trawslythreniad / Transliteration** とか、「音韻翻訳」**Phonological Translation** (J.C. Catford) などと呼ばれる。その場合、当然のことながら、双方の言語の〔音韻体系〕を比較し、調音音声学に基づく「音分類」の方法を考慮する必要が生じる。

### 1) カムライグ語と日本語の「母音体系」の比較

カムライグ語の母音体系は、国際音声学協会 **The International Phonetic Association** が推奨している「基本母音」**Cardinal Vowels** に準拠して、1) 短母音 2) 長母音 3) 二重母音 の三つの副次的体系に分けて記述できる。カムライグ語南部方言に観察されるこれらの母音は、以下の通りである（北部方言のものは括弧で示す）。→ の後に、対応する「カタカナ表記」の可能性を示す。

1) 短母音：**/ɪ, e, a, ɒ, u, ə, (ɨ)/** →イ・エ・ア・オ・ウ・ア・イ

2) 長母音：**/i, e, a, o, u, (ɨ)/** →イー・エー・アー・オー・ウー・イー

3) 二重母音：

i) 前方型：**/eɪ** または **əɪ, aɪ, ɔɪ, uɪ, (ɛɨ, aɨ, ɔɨ, uɨ)/**

→ エイまたはアイ・アイ・オイ・ウイ

ii) 後方型：**/ɪʊ, eʊ, aʊ, ɒʊ, əʊ, (ɨʊ)/**

→ イウ・エウ・アウ・オウ・アウ・イウ

**問題点** 1. 短母音と長母音との対立は、日本語でも「長音符号」(ー)の有無で表記可能だが、「中舌母音」(**/ə/**と北部(**/ɨ/**, **/ɨ/**))の区別は「かな表記」ではできない。日本人の耳にはどちらも「ア」としか聴取されず、**yr /ər/** (定冠詞)：**ar /ar/**「～の上に」は、共に「アル」としか表記できず、同音異義にならざるを得ない。2. 二重母音では、言語使用域 **Register** の問題もあり、「公式の発音」**formal register** を記述する場合の **/eɪ/** 「エイ」に対して、「くだけた発音」での **/əɪ/** 「アイ」等も **/aɪ/** 「アイ」との区別がつかない。

### 2) カムライグ語と日本語の「子音体系」の比較

両言語にあるものと、カムライグ語にはあるが日本語にはないものに分けて